



## 防災行政無線

夏休み中に、本校の運動場の片隅に防災行政無線用のスピーカーが設置されました。高さ10m、4方向にスピーカーが取り付けられています。

この間、緊急地震速報が流れ、緊張した時間が流れましたが、万が一のときは、この防災無線が避難等に役に立つことでしょう。願わくば、役に立つことが永遠にないことを望みますが。

学校には、20数年前に防災倉庫が設置され、3年前からは緊急地震速報装置が設置され、今年、防災無線が設置されました。このように、巨大地震に対する備えができてきました。あとは、教職員や子どもたちの防災や減災などの意識を高めるとともに、万が一のときの避難の仕方や、自助、共助などの意識を高めておくことが重要となってきました。

先日、地震を想定した避難訓練を実施しました。子どもたちには訓練のあることを知らせず、昼休みに実施しました。子どもたちの近くに先生がいるとは限りません。緊急地震速報が流れました。教室にいる子どもたちは机の下にもぐりました。運動場にいる子どもたちは中央に集まり、身を低くしています。池の近くにいた低学年の子どもたちは、池から離れ身を低くしていました。これを見て、基本的な安全確保はできているなあと嬉しくなりました。しかし、実際の場合は余震もあるし、揺れがおさまってから避難する経路によっては、ガラスの破片が散乱していたり、頭上から物が落ちてきたりと、訓練とは違うことが起こり、かなりの恐怖心を伴うことでしょう。今後は、より実践的な訓練を計画していきたいと思います。

